

ここフリ

～第14号～

きょうせい まな むげんだい
- 共生、学びは無限大 - 福島市心のバリアフリー
推進キャッチフレーズ

< 令和7年3月発行 >

福島市共生社会推進課
〒960-8601

福島市五老内町3番1号

TEL 024(572)3948

FAX 024(535)7970

HP <https://www.city.fukushima.fukushima.jp>

fukushima.fukushima.jp

「令和6年度心のバリアフリー講演会」開催報告！

パラリンピックを経験された本市出身のお二人より、これまでの歩みや国内外での経験を織り交ぜながら、バリアフリーについて対談形式でご講演いただきました。



演題 福島市と歩んだパラリンピックへの軌跡

講師 遠藤 裕美(エンドウ ヒロミ)氏
パリ2024パラリンピックボッチャ銅メダリスト

村上 光輝(ムラカミ ミツテル)氏
東京2020パラリンピックボッチャ日本代表監督

大切に思うこと

(価値や価値観)は、

人それぞれ違って当たり前！

だからこそ、

“コミュニケーション”を通して
お互いに理解し合うことが大切！！

そうした先に、新たな価値が
つくられる！！

パリパラリンピックの映像や写真を、遠藤選手や村上監督と共に振り返り、選手村や移動面でのバリアフリーについてもお話いただきました。

なかでも、チーム日本は他国に比べ、団体行動や交流の場面が多く、日ごろからコミュニケーションを大事にしているというお話や、福島県内での代表合宿で地元の方々と交流したことが原動力になったというお話が心に残りました。

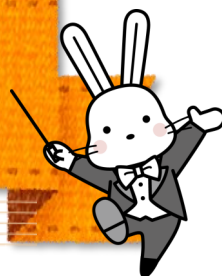
最後に、「バリアフリーな社会」「共生社会」は、私たちがみんなでつくる新たな価値とお話いただきました！日ごろからのコミュニケーションを大切にして、みんなで「共生社会」をつくりましょう！！

- ・バリアフリーというと「設備面」をイメージしがちですが、人の考え方や思いなどの「心のバリアフリー」が大事という言葉が印象的でした。
- ・一人ひとりが異なった価値観をもっているからこそ、互いに理解し合うためには、コミュニケーションが大切だと感じました。

アンケートより
参加者の声を
ご紹介♪

【ご紹介】

『市民センター』 オープン！！



中央学習センターや市民会館、敬老センター等の機能を複合化し、市民の方々が多用途に活動できる拠点として、福島市役所の西隣に「福島市市民センター」がオープンしました。心のバリアフリー推進隊が、施設の【ユニバーサルデザイン】を紹介します！



ユニバーサルデザインとは？

年齢、性別、身体状況、言語などのちがいに問わず、初めからすべての人が使いやすいように、建物や製品、サービスなどを計画、設計しようとする考えです。



市民センターができるまで

誰もが利用しやすい施設とするため、障がい者や高齢者、子育て世代など、市民の皆さまの声をもとに、多面的な視点で、配置やデザイン、機能等について検討し、設計されました。

1階



多機能トイレ



ローカウンター

男女兼用トイレ



性の多様性への配慮として、
男女兼用のトイレが
設置されています！



2階



調理室には、子どもや車いすユーザーも使いやすいように、高さを調節できる調理台があります！

調理台



授乳室



親子フリースペース



サイン



触知図・音声案内

そのほかのユニバーサルデザインについては、またご紹介します！
みなさんも、身近にあるユニバーサルデザインに目を向けてみましょう♪



ここフリ第15号は
令和7年5月頃

発行予定！

バックナンバー
はこちら⇒



きょうせい まな むげんだい
～ 共生、学びは無限大 ～

福島市心のバリアフリー推進キャッチフレーズ